2018年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL06618B03）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
スリランカ	G102 環境教育		個別	新規	2年	・2019/1・2019/2・2019/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

地方自治・州議会・スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

廃棄物管理局 (西部州)

3）任地（ コロンボ県コロンボ ） JICA事務所の所在地（ コロンボ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ ﾊﾞｽで 約 0.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

廃棄物管理局(以下、WMAと表記)は、全国9州のうち西部州にのみ設置されている機関で、廃棄物最終処分場の運営・管理のほか、ゴミの回収、運搬、廃棄等に関する計画策定過程において、管轄自治体に対する指導や助言を行っている。また廃棄物のリユースやリサイクルについての調査・研究を行うほか、不法投棄によって汚染された地域を回復するための対策を実行するなど、事業内容は多岐にわたる。2015年度予算は約3千万円。

【要請概要】

1）要請理由・背景

WMAは、西部州における最大規模の廃棄物最終処分場を有し、同処分場では7つの自治体から収集ゴミを有料で受け入れている。混合ゴミには1000ルピー/t、分別された有機ゴミには250ルピー/tを課金している。このような有機ゴミだけを搬入する場合の優遇措置が功を奏して、一部の自治体ではゴミの分別回収が地域住民の間に浸透、普及してきたが、多くの自治体では未だに混合回収が続いている。こうした状況下、WMAは分別回収で成功を収めている自治体を好事例として他の自治体にも同様のモデルを普及したいとの意向がある。そこで、こうした好事例の普及支援を行うために、JICAボランティアが要請されることとなった。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

カウンターパートと協力し、以下の活動を行う。
1.廃棄物最終処分場にゴミを持ち込んでいる7つの自治体に対して、廃棄物管理に関するアドバイスを行う。
2.各自治体のゴミ分別収集ルール策定に対する支援を行う。
3.市民･学校向けのゴミの減量化に関する説明資料の作成や啓発活動を実施する。
4.コンポスト事業の普及への提案や支援を行う。
5.学校におけるリサイクル活動の指導や環境教育を実施する。
6.堆肥化施設のコンポスト生産管理支援およびコンポスト販売促進への支援を行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務機器(PC、インターネット設備、電話、FAX等)

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚
・サイトマネージャー(実務経験6年、男性1名、30代)

活動対象者
・自治体職員及び市民全般

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
シンハラ語	シンハラ語	

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[学歴]：（大卒）　備考：同僚の教育水準と合わせるため

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（　　）　備考：

[参考情報]：

・環境教育に関する知識や経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）　気温：（22～34℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　　通話可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.